

4. 議題

今回の番組審議委員会は、10月10日（日）午後7時～放送『トマト店長のピーンとってみよう！※1』、10月12日（火）午後5時4分～放送『TODAY 'S ゲスト※2』を聴取して審議に入った。

※1『トマト店長のピーンとってみよう！』

地元食品スーパー（駿河屋）の元店長が「トマト店長」として、本格的に活動、現在は飛騨市古川町の「地場産市場ひだ」の店長の他、販売促進のインストラクター、また You Tube でも活動している。

You Tube チャンネル「トマト店長の販促劇場」の「トマト店長」が、ヒッツ FM の番組にも登場！飛騨の魅力や地元イベントなど紹介。音楽はハードロック、ヘヴィメタルなどを中心に選曲。その他、トマト店長と繋がりのある方とのゲストトーク、今後は事前取材をして放送する。

※2『TODAY 'S ゲスト』

イベント・告知等がある場合、関係者をスタジオに招いて話を伺うコーナー。この日は、高山市出身のシンガーソングライター 杉山修さんが、You Tube の撮影でヒッツ FM に来社、生放送中に突撃した様子を放送。

You Tube の「杉山修しゅうちゃんねる」で、放送の様子を視聴することが出来る。

5. 議題内容

会社側：審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対しての回答、報告、今後の放送予定、聴取した番組の補足などを説明した。

大萱委員長：只今、聴取した内容について感じられたこと、普段聴いている放送についてでもよいので、ご意見を頂戴したい。それでは石原さんからお願いします。

石原委員：トマト店長の番組ですが、自己紹介中心だったので、内容についてどうなのか？と言うことについては特に無いが、声が非常に明るく聞きやすい。選曲は、トマト店長の趣向があり、リスナーにとっては好き嫌いがあるかもしれないが、特徴があって個人的には良いと感じた。
TODAY 'S ゲストについては、地元出身のゲストが出演されたと言うことで、親し気な感じが良いなと思った。

大萱委員長：聴きやすい声だった。では次に太田委員お願いします。

太田委員：トマト店長は、イベントの司会もされているようで、耳障りが良い声で聴きやすい。タイトルの「トマト店長のピーンとってみよう！」の「ピーン」というのが分からなかったの、紹介があると良かったのではないかな？私自身、ヘヴィメタルを聴いたことが無いので、ヘヴィメタルばかりかと気になったが、もし他のジャンルの曲も取り上げれば、楽しめるのではないかなという気がする。

TODAY 'S ゲストは、予定外の人が突撃したということで、ナビゲーターさんがビックリしているところを聞くと、聞いている側も楽しくなってくる。決まりきった状況と違う楽しみ方があるのかなという気がした。

YouTube で映像が見られるということだが、ラジオを聴いた人がその時の様子を YouTube で見る事が出来ることは良いことだと思う。

大萱委員長：「ピーン」の意味は、リコピンのピンだと思うが・・・。

会社側： その通りです。

大萱委員長：もし説明を言っていなかったら、分からない人には分からない訳だし・・・。まあ、聞きやすい声ですし、慣れているのかなと感じる。それから、ゲストの杉山君はフレンドリーな感じがナビゲーターと出ており、良かったと思う。

村田委員：同じような意見になりますが、上手なおしゃべりだと思う。日曜日夜の放送が元気だと、自分が落ち込むのかな？と思ったり、放送の中で、緩くやって行きますと言っていたが、緩くない内容で、元気な感じが出ていたので、日曜夜7時～の放送時間帯が良い人と、ちょっと辛いと感じる人がいるのではないかな？明日は月曜日で憂鬱だなと思っている人には、ヘヴィメタルも含めて、キツイと少し感じる。放送時間帯と声のトーンで、好き嫌いが出てくるのかもしれないのではないかなと感じた。ただ、とても上手なので、ずっと聞いていられる。声自体も好きな声だ。次に聞いた内容は、意見と言うより楽しくやっている感じが伝わってきた。YouTube とのコラボということで、相乗効果と言うのが出て来て、それが数字で分かたりして、お互いに良かったとなれば、更にやりがいに繋がる感じがしたので、今回の数字が分かるとうれしいと思う。

大萱委員長：時間帯については、いろいろあると思うが、ハイテンションで常にやって、曲もハイテンションだと、番組の尺は分からないが、ずっとハイテンションで大丈夫かと心配してしまう。この場で聴取した部分は、声だけで、それだけでもハイテンションなのに、ハードロックやヘヴィメタルを掛けて、常にそのテンションで進行するのは、リスナーにとっ

て、好きな人は好きだと思うが、たまには緩い曲を選曲してメリハリがあった方が良いのかなと思う。村田委員と同じように感じるころがあったので、付け加えさせていただきました。

松川委員：トマト店長は慣れていらっしゃるので、盛り上げ方も上手で楽しそうで良いなと思う。ただ村田委員、委員長が言われたように、日曜日の午後7時を想像したときに、あのテンションで、ヘヴィメタルは辛い。明日休んで楽しく行こうみたいな時は良いのかもしれないが、心を落ち着かせたい時間帯の時は、どうなのか？と思う。今回は初回の放送を聞いてだけなので、2回目、3回目の内容は分からないが、実際に何をやりたいのか、私自身、今回の放送からは掴みとれなかった。ずっと「地場産市場ひだ」の紹介を中心に取上げていくのか？

会社側：「地場産市場ひだ」の店長と言うことで、「地場産市場ひだ」の告知をしたが、主には飛騨で活動されて繋がるのある方々をゲストに招いてトークをして行きたい。

松川委員：いろいろな場所へ出向くのは良いと思うが、ずっと「地場産市場ひだ」を中心に取上げると、恐らく飽きてくるのではないかな？

会社側：それはありません。回ごとに多少変えたりします。

松川委員：分かりました。宣伝ばかりだとどうなのか？と、思った次第です。2回目の放送は、非常に楽しくやってて、平日の仕事帰りに聞いて帰るのは、良いのではないかな。

大萱委員長：トマト店長は、2回目の放送も終わったんですね？ どんな内容だったのかな？

会社側：2回目が終わり、12月に3回目の放送をします。2回目は、袈裟丸リンゴ園の方に出演していただきトークで終わりました。

大萱委員長：トマト店長は人脈もあるだろうし、いろいろ広がりを持ってやってもらえるだろうから期待したい。

高原委員：皆さんの意見とほとんど変わりませんが、私自身、トマト店長を存じ上げていないが、本人がかなり楽しそうに話しており、その発信力に期待したい。一つお聞きしたいのが、エリアと言うのは飛騨地域のことを取り上げ

ということなんですよ？高山市だけということではなく、飛騨市も含めた飛騨エリアのこと？

会社側：そうです。飛騨エリア全体です。

高原委員：ゲストの放送は、聞き慣れており、ライブ感があって楽しそうに感じた。意見ということではなく、楽しそうな雰囲気、リスナーにも伝えるべきことは伝え、楽しさがあってという構成は、良いのではないかな。

会社側：ゲスト出演に関しては、放送の中でスタッフと言っていたのは、私（山下）が入れと言いました。裏話としては、事前に打ち合わせはして、「スタジオに入るかもしれない」と、井谷ナビゲーターには伝えていました。ただ、本当に驚いたと言う感じは出なかったもので、杉山君には「行け」と指示をしました。ハプニング的なことも、たまにはあってあっても良いのかな？と思ってやりました。

高原委員：ラジオの形態が行政のお知らせだったり、普通のしゃべりがあったり、いろいろなバリエーションの中で、今回のハプニング的なものがあって楽しい感じがした。こういうものも良いなと言う感想です。

大萱委員長：いろいろなことに取り組んで、失敗したら失敗したで反省材料とし、次に活かせば良いと思うし、YouTubeにしてもファンの方もいらっしゃると思うので、YouTubeを見て、ヒッツ FM を余り聞かないという人がヒッツ FM を聞いてくれるという相乗効果、トマト店長、杉山修君のYouTubeで、ヒッツ FM を宣伝していただく部分も面白可笑しくも結構ですので、続けていってもらえればと思います。今までにない取り組みを楽しく聞かせていただきました。こうやって見ますと、高山にはタレントが多いですね。若い人も年配の人も面白い方がいっぱいいますので、発掘もしないといけませんね。ただラジオの性質上、声だけになってしまうので、それはそれで難しい部分があるかと思いますが、是非発掘してください。他に何かございますか？

村田委員：丁度昨日、大萱委員長の放送聞きました。普段仕事に聞く機会が無いので、昨日のクリスマス特集良かったです。

大萱委員長：手前味噌で申し訳ないですが、十数年やらせてもらって、この時期はクリスマス特集として、毎年被らないようにやって来たり、ナビゲーターとも曲が被らないように考え、今回は3大テノールのクリスマスソングを取り上げました。どこまでネタが続くのか自分の中では心配してい

る。ただ、世の中いろいろな物が出てきているので、それにどれだけ情報を敏感に張っているのかということが大事ではないかと思う。
それから、バーチャルコンサートの方はどうですか？現在募集中と言うことですが？

会社側：今のところ、音源を頂戴しておりますのが10組前後です。10日を締め切りとしておりまして、昨日も音楽関係の方が来社され話しをしました。例年ですと、年末年始は、小中学校音楽会を放送していましたが、今年は開催されませんでしたので、代わりに大人の発表会という感じで、企画してみました。募集期間が短いにも関わらず、いくつか応募もあり、目標には届いていませんが、それなりの形にはなりそうかなというところです。市民時報、岐阜新聞、中日新聞に依頼し、記事として取り上げていただき、記事を見て興味を持って応募、お問い合わせもありました。紙媒体と言う既存のメディアもまだまだ見捨てたものじゃないと感じました。ジャンルにしても、ロック系、三味線、二胡のような応募もありました。好評であれば来年のこの時期とか、また違う時期に出来るか検討したい。高山・飛騨地域にいろいろな音楽団体、グループがいろいろなジャンル、ミュージシャンが活動されていますので、コロナで中々発表する機会が無く皆さんにラジオを通じて聞いていただく、会社として、発表する場を提供することは義務ではないかと思っており、年末30日からの放送に間に合うように編集作業をやっていきますし、この企画に手ごたえを感じています。

大萱委員長：是非楽しみにしております。コロナ禍で発表が出来ないということもありますが、コロナが収束しても続けて行ってもらえれば面白いのではないかと思います。
流れ星の番組もまた始まるようですが？

会社側：東京で収録した音源が送られてきて放送しますが、一回、こちらで公開録音をする予定ですが、収録場所は決まっています。

大萱委員長：年末に向けて大変だと思いますが、頑張ってくださいたい。本日はこれにて終わります。ありがとうございました。

6. 審議機関の答申又は、意見の概要を公表した場合における公表 内容、方法年月日

令和3年12月7日（火）番組審議委員会の席上で説明

7. その他の参考事項

次回開催日：令和4年2月下旬

開催場所：飛騨地域地場産業振興センター（予定）